

# 教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-22-2111

目次	1面	平成30年度芦別市学校教育推進の重点
	2面	コミュニティ・スクールの導入、芦別市が目指す一貫教育
	3面	平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果
	4面	各種検定料の助成、外国語活動の充実

## 平成30年度芦別市学校教育推進の重点

本市では、芦別市総合教育大綱の基本目標である「健やかで豊かに学べるまち」の実現を目指し、平成30年度芦別市教育行政執行方針及び芦別市学校教育推進計画において4つの重点目標を掲げて学校教育活動に取り組んでいます。

### ◎学ぶ力の育成

子どもたち自らが課題を見つけ・学び・解決するために必要な学ぶ力の育成を図ります。

- ☆目指す子ども像を共有し、9年間を見通した小中一貫教育の推進 ※
- ☆漢字・数学(算数)・英語検定の検定料助成(1回) ※
- ☆外国語活動充実のため英語指導助手を1名増員し小学校・中学校に1名ずつ配置 ※

### ◎豊かな心の育成

よりよい人格の発達を促すため、生命を大切に作る心や他を思いやる心など、豊かな心を持つ子どもの育成を図ります。

- ☆平成30年度から小学校で、平成31年度から中学校において教科化される道徳教育の指導体制整備の推進
- ☆地域の人々の暮らしや伝統など、ふるさと芦別について学習する機会の充実
- ☆関係機関と連携・協力し、いじめを根絶する意識の醸成

### ◎健やかな身体の育成

家庭や関係機関との連携を強化し、様々な知識を身につけ、健康で安全な生活を営む能力や態度の育成を図ります。

- ☆「早寝早起き朝ごはん」「望ましい生活習慣」の定着
- ☆「一校一実践」による体力・運動能力の向上
- ☆健康や食に関する指導や教室等の開催

### ◎地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

学校・家庭・地域が情報を共有し、一層信頼される学校づくりに取り組みます。

- ☆コミュニティ・スクールの平成31年度導入に向けた組織体制の整備 ※
- ☆教職員の指導力・資質向上を図るための研修会・講座への派遣奨励
- ☆特別な教育的支援を必要とする児童・生徒一人ひとりに応じた教育活動の推進

※「小中一貫教育」と「コミュニティ・スクール」の記事は2面に、「検定料の助成」と「外国語活動の充実」の記事は4面に掲載しています。

## 保護者・地域の皆さまへ

教育だよりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな政策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有化するため年3回発行いたします。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」(様式自由)にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-22-2111 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp

## コミュニティ・スクールの導入について

本市では、地域に根ざした学校教育を進めるという理念のもと、これまで以上に学校と保護者、地域の皆さんが一体となって「開かれた信頼される学校づくり」を進めるため、平成31年度を目途に、2つの中学校区をコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度を導入した学校)に指定します。では、そのコミュニティ・スクールって、一体、なんのことなのか?について説明します。

コミュニティ・スクールとは、学校と、保護者・地域の方が学校の応援団として、力を合わせて学校の運営に取りんでいこうとする仕組みづくりです。「こんな子どもを育てていきたい」という共通の目標をもちながら、子どもの教育や学校運営について話し合ったり、日常的に来校していただき子どもたちの活動の支援をしていただくことが想定されます。

具体的には、各中学校区に保護者や地域の方で構成する「学校運営協議会」を設置し、目指す子どもの姿を共有しながら、学校運営の基本方針を承認したり、教育活動などについて意見を出してもらうなどの役割をもち、様々な取り組みを進めます。



### 【4つの役割】

- ① 学校の運営の基本方針を承認すること
- ② 学校の運営に関することについて意見を述べるができること
- ③ 学校の評価に関すること
- ④ 学校への支援に関すること

これまでも、教職員はもちろんのこと、保護者や地域の方など、学校や子どもの教育に関わる様々な立場の方により、多様な取り組みが行われてきていますが、さらに地域に根ざした学校教育を充実させていくために、芦別ならではのコミュニティ・スクールを展開していきたいと考えています。



## 芦別市が目指す小中一貫教育について

本市では、義務教育の9年間で、こんな子どもに育ててほしいという姿を描いています。

『 地域～郷土に愛着をもつ子ども      知～進んで学習に取り組む子ども  
徳～豊かな心をはぐくむ子ども      体～たくましく健やかな体をはぐくむ子ども 』

人口減少、少子高齢化が進む本市においては、地域コミュニティの衰退や小・中学校の児童生徒数の減少といった状況にあり、家庭や地域の教育力に大きな影響を与えるとともに、子どもの社会性を育成する機能も弱まっているという課題があります。また、小・中学校間の教育活動の違いから、学習や生活に不応を起す「中1ギャップ」の問題への対応にも迫られているところです。



これまで、「小中連携」として取り組んできた児童生徒の学力の向上、中1ギャップの未然防止、教職員の資質能力の向上を図る取組などを継続し、さらに発展させた芦別市ならではの「小中一貫教育」を推進し、上記に描いたような子どもを育てていきます。

※「コミュニティ・スクール」「小中一貫教育」については、今後も「教育だより」や「広報あしべつ」などでみなさんにお知らせし、ご理解・ご協力をお願いしてきたいと思います。

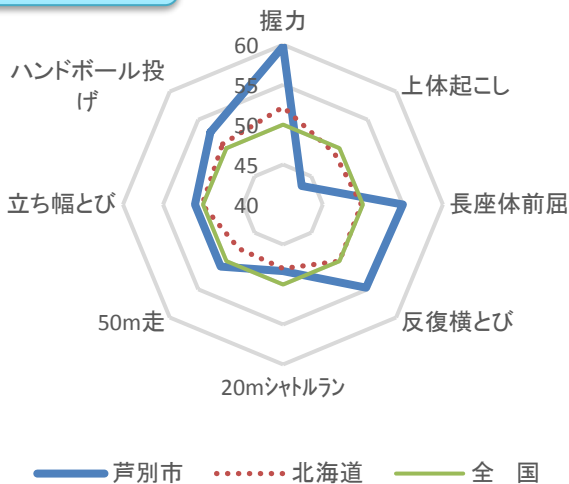
# 平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

この調査は、文部科学省が子どもの体力の状況を把握・分析することなどを目的に、全国の小学校5年生・中学校2年生を対象に実施し、本市でも昨年の4月から7月の間に実施しました。

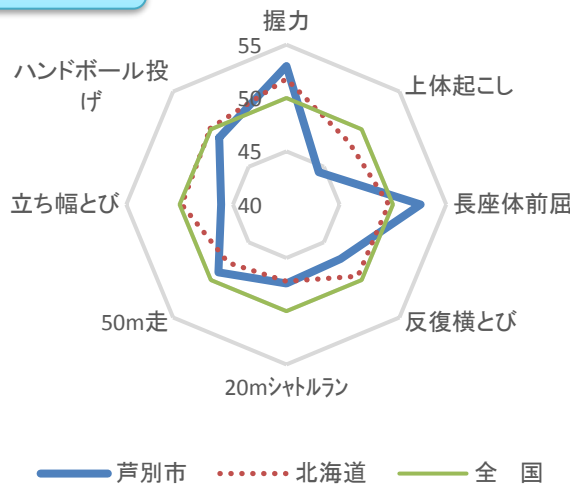
この調査結果を踏まえ、今年度も様々な取組を行っていきます。

グラフは、全国を50とした場合の、北海道及び芦別市の数値を示したものです。

### 小学生男子

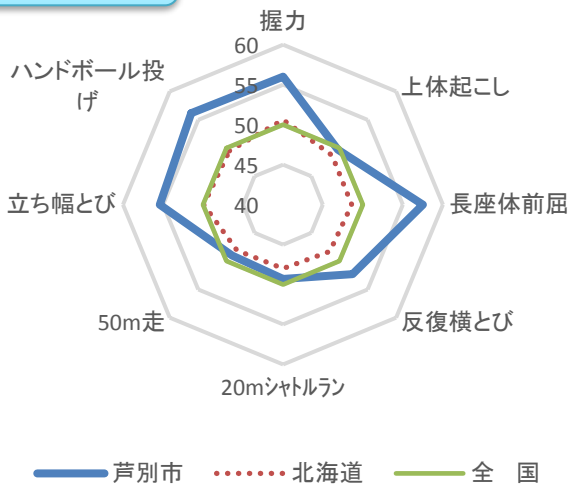


### 小学生女子

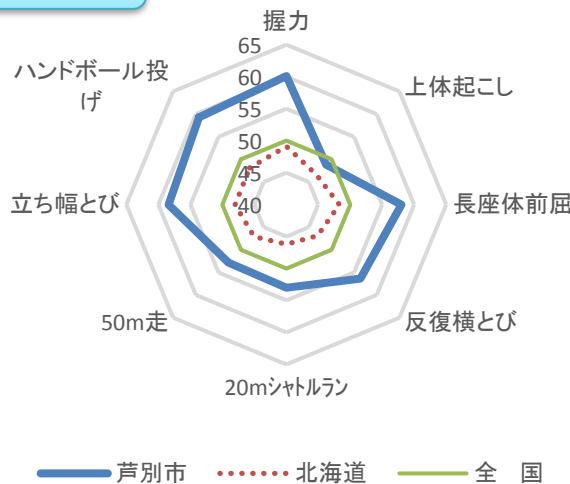


男子・女子ともに、上体起こしや20mシャトルランでは全国平均値を下回っていますが、握力や長座体前屈では全国平均値を上回っており、種目によって全国平均値との差にばらつきが見られます。学校での一校一実践や、家庭での望ましい生活習慣の定着など、今後も継続的な取組を進めることが必要だと考えます。

### 中学生男子



### 中学生女子



男子は、上体起こし・20mシャトルラン・50m走を除く5項目で、女子は、上体起こしを除く7項目で全国平均値を大きく上回っています。全国平均値を下回った項目についても、男女ともに全国平均値とほぼ同様であり、全体的に高い数値となっています。今後も、学校での体力向上の取組や、家庭での望ましい生活習慣の定着に向け、継続的に取り組むことが必要だと考えます。



## 芦別市の検定料助成制度を紹介します

本市では、児童・生徒が漢字や数学(算数)、英語検定を受検する際に、検定料の助成を行っています。対象は、小学校3年生から中学校3年生までで、毎年度、一人一回分の検定料を全額助成しています。

検定合格という一つの目標を持って意欲的に学習に取り組むことによって、目標を達成することの喜びや学習に対する自信を培うことにつながる機会になればと考えています。をもちながら、子どもの教育や学校運営について話し合ったり、日常的に来校していただき子どもたちの活動の支援をしていただくことが想定されます。

※芦別高校の生徒が受検する検定等(英語検定、簿記検定、模擬試験ほか)にも助成を行っています。詳しくは教育委員会学務課までお問い合わせください。

## 外国語活動の充実について

学習指導要領の改正が行われ、小学校では平成32年4月1日から3・4年生で「外国語活動」が、5・6年生では現在の「外国語活動」が「外国語」の教科として位置づけされ、授業時間も増えます。

これらを踏まえ、平成32年度に円滑に移行できるように、平成30年4月から3・4年生の「外国語活動」を先行して実施することとし、5・6年生の「外国語活動」の授業時間も増やして取り組んでいるところです。

このことから、本市では「英語指導助手」を1名増員し、小学校・中学校それぞれに合わせて2名配置しています。

英語指導助手の役割は、子どもたちに英語の発音に慣れ親しんでもらうことはもちろん、授業の補助や、特別活動等の教育活動における児童生徒との交流など多岐にわたります。

ここでは、平成30年4月から芦別市内の小学校・中学校に勤務している英語指導助手を紹介しています。二人とも日本語は堪能ですので、まちで見かけたときは声をかけてください！



名 前：ジェイコブ  
出身地：イラン  
勤務先：芦別小学校、上芦別小学校  
特 技：ラグビー・ダイビング  
趣 味：ランニング・読書・釣り



名 前：アレックス  
出身地：アメリカ  
勤務先：芦別中学校、啓成中学校  
特 技：ドイツ語  
趣 味：ハイキング、漢字が好きです